

(1) 令和元年度事業報告について

第1 防災事業

事業区分		防災事業の内容
啓蒙啓発	火災予防運動の協賛	<p>○ 全国一斉に実施される秋、春の火災予防運動に呼応し、各種行事を通じて火災予防思想の高揚を図った。</p> <p>☆ 秋の火災予防運動(令和元年11月9日～11月15日)</p> <p>(1) 防火ポスターの配布</p> <p>(2) 防火立看板の掲示</p> <p>(3) 広報車による防火広報</p> <p>(4) 防火啓発活動として、地域住民に消防を身近に感じていただくため、11月10日道の駅おおう桜街道で、たがわ消防フェスタを開催し広く防災対策等の啓発をおこなった。</p> <p>(5) その他</p> <p>☆ 春の火災予防運動(令和2年3月1日～3月7日)</p> <p>(1) 防火ポスターの配布</p> <p>(2) 防火立看板の掲示</p> <p>(3) 住宅用火災警報器の普及促進</p> <p>(4) 広報車による防火広報</p> <p>(5) その他</p>
	危険物の安全週間の協賛	<p>○ 危険物安全週間(令和元年6月2日～6月8日)</p> <p>危険物の適正な取り扱いと保安に対する意識の向上を図るため、横断幕及び幟を掲出し、関係事業所にポスター等を配付した。</p>
	高齢者宅の防火診断	<p>○ 高齢者宅を訪問し、火災の発生危険個所の点検を行う防火診断を実施した。</p> <p>田川市郡38世帯について実施し、防火診断後にラジオ付き電波時計を贈呈した。</p> <p>タコ足配線や住宅用火災警報器の設置について指導した。</p>
	防災会報第46号発行	<p>○ 協会の活動状況や各種試験案内等を会員に周知すると共に火災予防等の啓発を図るため防災会報第46号を発行した。</p>
	啓発用品による啓発活動	<p>○ 啓発用品により地域住民、幼少年に対し火災予防思想を啓発し、防災の輪を広げた。</p> <p>令和元年度は、防災啓発用組立スマホペンスタンド及びクリアファイルを購入した。</p>
講習事業	危険物取扱者会保安講習会	<p>○ 現に危険物取扱いに従事している「危険物取扱者(免状所持者)」を対象に保安講習を実施した。2日間で351名が受講した。</p> <p>10月2日(水)・3日(木) 於 田川地区消防本部</p>
	危険物取扱者会試験準備講習会	<p>○ 「危険物取扱者試験」を受験する会員等を対象に、受験案内及び受験準備講習会を実施した。3回の講習会で38名が受講した。</p> <p>於 田川地区消防本部</p> <p>第1回 6月1日(土)、第2回 10月5日(土)、第3回 令和2年2月1日(土)</p>
	消防設備士会法定講習会	<p>○ 消防設備士免状所持者で、一定期間を経過した者を対象に受講案内及び法定講習の案内を行った。</p> <p>9月25日(水)・26日(木)・27日(金) 於 飯塚地区消防本部</p>
	その他	<p>○ 各種講習会、試験案内等の広報を実施した。</p>

事業区分		防災事業の内容
表彰関係	定例表彰	<p>防火優良事業所……………ヤマキ産業 (7事業所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)ハシモト ・香春鋳業(株) ・(医)恵和会 田川慈恵病院 ・障害者支援施設 月の輪苑 ・西本町地区 ・日本郵便(株) 田川東町郵便局 <p>・優良消防設備業者……………恒政工業 (1事業所)</p> <p>・優良危険物取扱者……………久本 実 (山栄石油方城給油所) (3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤井 勇 (香春石灰化学工業(株)) ・崎山 京 (株)崎山組 <p>・優良消防設備士……………大場 幸弘 (株)大場工業) (1名)</p> <p>・優良防火管理者……………中原 俊博 (社会保険田川病院) (3名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉田 久志 (特別養護老人ホーム 長寿園) ・野村 嘉 (NTKジャパン(株)) <p>・優良業務主任者……………吉田 寿幸 (イワタニ九州(株)下田川ガス(営)) (1名)</p>
	消防協力者表彰	<p>・消防協力者表彰</p> <p>◎ 功績 平成31年4月29日、田川市伊田町で発生した建物火災における早期発見・通報・初期消火活動によるもの</p> <p>○ 表彰日 令和元年6月24日 被表彰者 篠原 卓史・篠原 知恵</p>
会員の勧誘	<p>会員の勧誘</p> <p>○ 協会組織の拡充を目指し、事業所等に対し年間を通じて加入を呼びかけた。</p>	
調査研究	<p>調査研究</p> <p>○ 役員視察研修 日時:令和元年9月20日(金) 場所:長崎県西海市大島町 ・大島造船所 参加者:役員14名、消防長、事務局4名</p>	

第2 会 議

会 議 名	開 催 予 定	内 容
監 査	平成31年 4月11日	・ 平成30年度収支決算について
正 副 会 長 会 理 事 会	4月24日	・ 事業報告 ・ 令和元年度総会の開催について ・ 令和元年度総会議案について ・ 令和元年度定例表彰について ・ その他
総 会	5月28日 ザ・プリティッシュヒルズ	・ 平成30年度事業報告について ・ 令和元年度事業計画について ・ 令和元年度予算について ・ 平成30年度収支決算等の承認について(決議) ・ 役員の選任について(決議)
正 副 会 長 会 理 事 会	8月8日	・ 事業報告 ・ 役員視察研修について ・ 高齢者宅の防火診断について ・ 総合防災訓練の参加について ・ その他
正 副 会 長 会 理 事 会	10月18日	・ 事業報告 ・ 秋季火災予防運動の協賛について ・ たがわ消防フェスタの協賛について ・ 高齢者宅の防火診断について ・ その他
正 副 会 長 会 理 事 会	令和2年 2月20日	・ 事業報告 ・ 春の火災予防運動行事への協賛について ・ 令和2年度の事業計画(案)及び収支予算(案)について ・ その他
郵 便 局 部 会	2月20日	・ 令和2年度防災協会事業及び部会の運営について ・ 令和2年度定例被表彰者の選考について ・ その他
消 防 設 備 士 部 会	2月25日	・ 令和2年度防災協会事業及び部会の運営について ・ 令和2年度定例被表彰者の選考について ・ その他
福 祉 施 設 部 会	2月26日	・ 令和2年度防災協会事業及び部会の運営について ・ 令和2年度定例被表彰者の選考について ・ その他
病 院 部 会	3月2日	・ 令和2年度防災協会事業及び部会の運営について ・ 令和2年度定例被表彰者の選考について ・ その他
町 内 部 会	3月6日	・ 令和2年度防災協会事業及び部会の運営について ・ 令和2年度定例被表彰者の選考について ・ その他
危 険 物 部 会	3月6日	・ 令和2年度防災協会事業及び部会の運営について ・ 令和2年度定例被表彰者の選考について ・ 理事の交代について ・ 監事の選任について ・ その他
一 般 事 業 所 部 会	3月12日	・ 令和2年度防災協会事業及び部会の運営について ・ 令和2年度定例被表彰者の選考について ・ 理事の交代について ・ その他
L P ガ ス 部 会	3月26日	・ 令和2年度防災協会事業及び部会の運営について ・ 令和2年度定例被表彰者の選考について ・ その他

令和元年度公益目的支出計画実施報告書

整備法第 127 条第 1 項の規定により、当該事業年度の公益目的支出計画の実施状況を下記のとおり報告します。

1 公益目的支出計画

- | | |
|----------------------------|------------------|
| (1) 平成 25 年 3 月 31 日公益目的財産 | 5,574,368 円 |
| (2) 公益目的支出の見込額 (平均の額) | 1,100,000 円 |
| 実施事業収入の見込額 (平均の額) | 253,000 円 |
| 収支差額の見込額 (平均の額) | 847,000 円 |
| (3) 公益目的支出計画の完了予定事業年度の末日 | 平成 32 年 3 月 31 日 |
| (4) 公益目的支出計画の実施予定期間 | 7 年 |

2 当該事業年度の公益目的収支差額

単位：円

実施計画	収入	支出	収支差額
防災思想普及啓発推進事業	360,400	1,028,549	△668,149

3 当該事業年度末の公益目的財産額

単位：円

	金額
平成 31 年 3 月 31 日財産額	308,611
令和元年度収支差額	668,149
令和 2 年 3 月 31 日財産額	△359,538



- 4 公益目的支出計画の実施に影響を与える重要な変更はありませんでした。

公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

令和2年4月10日

一般社団法人田川地区防災協会
会長 江藤正剛 殿

一般社団法人田川地区防災協会

監事 山野智士 
監事 園田 均 

平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度の公益目的支出計画実施報告書に関する監査を行いましたので、次のとおり報告します。

1 監査方法及び内容

各監事は、理事及び事務局等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書について検討しました。

2 監査結果

公益目的支出計画実施報告書については、法令及び定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示しているものと認めます。

以上

貸 借 対 照 表

(令和2年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	令和元年度	平成30年度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金	0	0	
普 通 預 金	3,266,529	3,131,197	135,332
流 動 資 産 合 計	3,266,529	3,131,197	135,332
2 固 定 資 産			
(1) 有 形 固 定 資 産			
備 品	0	0	
有 形 固 定 資 産 合 計	0	0	
(2) そ の 他 の 固 定 資 産			
財 政 調 整 積 立 金	1,271,593	1,271,485	108
消 防 機 材 整 備 積 立 金	1,814,352	1,814,198	154
積 立 金 合 計	3,085,945	3,085,683	262
固 定 資 産 合 計	3,085,945	3,085,683	262
資 産 合 計	6,352,474	6,216,880	135,594
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債	0	0	0
2 固 定 負 債	0	0	0
負 債 合 計	0	0	0
III 正 味 財 産 の 部			
1 積 立 金 合 計	3,085,945	3,085,683	262
2 預 金			
現 金	0	0	0
普 通 預 金	3,266,529	3,131,197	135,332
正 味 財 産 合 計	6,352,474	6,216,880	135,594
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	6,352,474	6,216,880	135,594

正味財産増減計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(単位:円)

科目	令和元年度	平成30年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 会費収入	1,410,000	1,419,400	△ 9,400
② 事業収入	90,900	102,520	△ 11,620
③ 助成金収入	250,000	250,000	0
④ 雑収入	423,981	329,778	94,203
⑤ 寄付金収入	0	0	0
経常収益計	2,174,881	2,101,698	73,183

(2) 経常費用			
1. 防災事業費	1,231,644	1,195,060	36,584
① 福利厚生助成金	0	0	0
② 諸謝金	68,500	54,000	14,500
③ 報償費助成金	37,892	94,324	△ 56,432
④ 通信運搬費	61,337	108,838	△ 47,501
⑤ 消耗品費	546,879	374,518	172,361
⑥ 食料費	51,437	56,241	△ 4,804
⑦ 印刷製本費	129,690	189,000	△ 59,310
⑧ 表彰費	79,110	103,249	△ 24,139
⑨ 原材料費	0	0	0
⑩ 雑費	53,704	64,136	△ 10,432
⑪ 調査研修費	203,095	150,754	52,341
2. 管理費	807,905	659,651	148,254
① 会議費	355,123	356,442	△ 1,319
② 特別表彰費	0	0	0
③ 旅費交通費	21,000	6,000	15,000
④ 通信運搬費	166,810	122,936	43,874
⑤ 消耗品費	67,928	44,055	23,873
⑥ 修繕費	0	0	0
⑦ 印刷製本費	52,098	3,272	48,826

(単位:円)

科目	令和元年度	平成30年度	増減
⑧交際費	23,000	5,000	18,000
⑨租税公課	21,000	21,000	0
⑩負担金	88,648	88,648	0
⑪雑費	12,298	12,298	0
経常費用計	2,039,549	1,854,711	184,838
当期経常増減額	135,332	246,987	△ 111,655

2. 経常外増減の部			
①経常外収益	0	0	0
②経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0

(1)当期一般正味財産増減額	135,332	246,987	△ 111,655
一般正味財産期首残高	3,131,197	2,884,210	246,987
一般正味財産期末残高	3,266,529	3,131,197	135,332

Ⅱ 指定正味財産増減の部			
①積立金利息	262	262	0
②備品(減価償却)	0	0	0

当期指定正味財産増減額	262	262	0
指定正味財産期首残高	3,085,683	3,085,421	262
指定正味財産期末残高	3,085,945	3,085,683	262

Ⅲ 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	6,352,474	6,216,880	135,594

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

貸借対照表及び正味財産増減計算書の内容を補足する重要な事項はありません。

一般社団法人田川地区防災協会

財 産 目 録

(令和2年3月31日現在)

財 産 の 部

(単位:円)

I	流 動 資 産		
1	現 金	0	
2	普 通 預 金		
	(1)福岡銀行伊田支店	841,088	
	(2)西日本シティ銀行東田川支店	925,929	
	(3)田川信用金庫東支店	871,841	
	(4)ゆうちょ銀行	627,671	
			3,266,529
II	固 定 資 産		
1	有 形 固 定 資 産	0	
2	その他の固定資産		
	財政調整積立金	1,271,593	
	(田川信用金庫)		
	消防機材整備積立金	1,814,352	
	(田川信用金庫)		
			3,085,945
	資 産 合 計		6,352,474

負 債 の 部

(単位:円)

I	流 動 負 債	-	
II	固 定 負 債	-	
	負 債 合 計		-

(単位:円)

差 引 正 味 財 産		6,352,474
-------------	--	-----------

監査報告書

令和2年4月10日

一般社団法人田川地区防災協会
会長 江藤正剛 殿

一般社団法人田川地区防災協会

監事

山野 智士



監事

園田 均



私たちは令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日）における一般社団法人田川地区防災協会の業務及び財産の状況について、法令及び定款に基づき監査を行いましたので、次のとおり報告します。

1 監査方法及び内容

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めるとともに、事業報告書、財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書等の監査を実施しました。

2 監査結果

- (1) 事業報告書の内容については、事実に伴い、一般社団法人田川地区防災協会の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、収支及び財産の状況等を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

以上